

**本** を楽しみながら育つ子どもたちがたくさんいることがわかってきたが、興味幅がもつと広がる大人に向けてはどうなんだ？ そうだな… 興味のあるものへの理解をより深め、より新しい情報を手に入れたい時は、雑誌が役に立つのだが。おや？ この志布志市立図書館の雑誌コーナー、相当な品ぞろえとお見受けした。常時120種類ほどの雑誌が揃っているだ！？ その上「雑誌スポンサー制度」とは。事業者までもが本への理解が深いのだな。



## 雑誌スポンサー制度

スポンサー名	提供雑誌
若潮酒造株式会社	週刊新潮
株式会社和香園	レタスクラブ
	ESSE (エッセ)
株式会社島津	月刊ピアノ
	月刊エレクトーン
岩満忠広司法書士事務所	サライ
太久保酒造株式会社	月刊ゴルフダイジェスト
	リーブ (LEAP)
有限会社中山信商店	現代農業
フラワーギャラリーやまだ	婦人画報
	Come home!
清水木工	住まいの設計

雑誌の年間購読料を負担していただくかわりに、その最新号のカバー表にスポンサー名、裏面に広告を掲載することができます。スポンサーになった事業主の方の宣伝活動の促進を図るとともに、図書館経費を効率的に運用し、図書館サービスの向上を図るものです。

詳しくは、図書館ホームページのトップ下にあるインフォメーションの「雑誌スポンサー募集」をご覧ください。

**読** 書とは、いくつになってもどんな時でも続けていきたいものだ。しかし、事情により図書館に行くことすらままならないこともある。なに？ 高齢の方や身体的都合により図書館までの交通手段のない方には、宅配サービスもやっているだ？



## 宅配サービス

### 《利用者の声》

2年くらい前から利用しています。小さいころから本を読むことが大好きです。貸出期間も長く読みたいときに読むことができます。借りた本のアンケートをもとに、図書館の方が次の本を選んでくださり、楽しみにしています。大字の本も増えて、読みやすく助かっています。

**読** 書とはまさに自分への貯金。どのくらい貯まったかな、なんて時には「読書の通帳」があるぞ。銀行の通帳のように、図書館で借りた本の情報を記録できるサービスだ。1冊に336冊分の本が記録できるぞ。一生でどのくらい貯められるだろうか。

**最** 後にもうひとつ確認しよう。市民の皆さまに安心して本を読んでもらうためには、感染症への対応も必須だ。コロナ禍だからといって、大好きな本を遠ざけることはできないからな。図書館では、貸し出しから戻ってきた本は消毒液でふき取って、1日置いてから棚に戻すようにしているぞ。



## 読書の通帳



【設置場所】 図書館本館  
有明分館、松山分館



より安全に本を借りられるよう  
書籍消毒器を近日設置予定！



### 《開館時間》

【本館】 平日9時～19時  
土・日・祝9時～18時  
【有明分館・松山分館】 9時～17時  
【志布志・香月・安楽】 10時～17時

### 《休館日》

【11月】 16日・18日・24日・30日  
【12月】 7日・14日・16日・21日  
年末年始休館 12/28～1/4

### こ

のガン・ガラチャン、赤ちゃんから大人まで、本を存分に楽しめるまちと聞いてやってきたが、想像以上であった。ある意味事件と呼ばれるのも頷ける…。私も思い出すものだ。待ちきれなくて下校中に読んだあの物語、読みながら恋人を待ったあの小説、結末が気になった睡眠時間を削ったあのミステリー。どんな時でも本があれば、大冒険に出かけ、恋をし、時空を超え、ハラハラドキドキのスリルを味わうことができる。本に描かれた世界をリアルに思い描き楽しむ、それが読書。さあ、老いも若きも楽しもう。

